

横浜市立大学附属病院一般外科で胃癌手術を受けた患者様へのお知らせ

このたび一般外科 利野が2014年12月19日付けで文部科学省の平成26年度科学技術試験研究委託事業「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」において「同一胃癌症例の原発組織、非癌部粘膜、血液、腹水を用いた胃癌の治療・再発についての研究」という研究で文部科学省と締結しました。この研究成果で採血による胃癌の診断、抗癌剤の効果予測、再発診断が可能になる事が期待されます。

内容は以下の(1) - (3)の通りです。このため、胃癌の患者様より手術治療時に切除・採取した標本を用いて遺伝子解析を行うことになりました。本研究で患者様の個人情報を公開することはありませんので匿名性は担保されます。また、得られた解析データは研究者が共有できるように独立行政法人科学技術振興機構(JST)バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)が運営する「ヒトデータベース」に登録することになっています。

このような研究で遺伝子研究をされることに対し拒否される患者様は一般外科 利野までご連絡ください。また、ご質問がある方は、外来診察時に、担当医にお聞きください。

(1) 題目

「分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発」

(2) 担当責任者

横浜市立大学医学部外科治療学准教授兼大学附属病院一般外科部長 利野 靖

(3) 実施期間 平成26年12月19日から平成27年3月31日を予定